

社団法人日本新体操連盟

平成19年度第2回総会議事録

1. 会議名： 平成19年度第2回総会
2. 日時： 平成20年3月25日（火）11時00分～11時40分
3. 場所： 東京都港区西麻布3-2-32 「霞会館・201号室」
4. 構成員現在数： 553名
5. 出席会員数： 416名（うち委任状出席者399名）
以下出席会員
アップルシェイクRGクラブ、イオン、エンジェルR.Gクラブ、大宮ジュニアRG、幸手新体操クラブ、幸手リボンクラブ、ジャスコおゆみ野、ジャスコ北習志野、ジャスコマリンピア、新体操クラブメチタ、SweetピュアR.G、トライ新体操クラブ、長泉新体操クラブ、ピュアR.G、ふじしま新体操クラブ、舞Kids R.P.G.、マリン
6. 欠席会員数： 137名
7. 出席役員： 二木 英徳（会長） 朝倉 正昭（副会長） 福本 隆（副会長）
荒井 隆（専務理事） 渡辺 守成（常務理事） 池田真喜子（理事）
岩本 晃（理事） 崇島 慎一（理事） 橋本 千波（理事）
藤島八重子（理事）
高橋 明（副会長） 山崎 浩子（理事） 岡 久留実（理事）
横田 章（監事） 谷口 裕代（理事） 秋山エリカ（理事）
田中 元（監事） 谷原 誠（理事） 上村 郁子（理事）
以上19名（うち委任状出席9名）
8. 欠席役員： 石崎 朔子（常務理事） 関田史保子（常務理事）
以上2名
9. 議案：
決議事項
第1号議案 平成20年度事業計画について（定款第5,29,38条関連事項）
第2号議案 平成20年度収支予算について（定款第29,38条関連事項）
第3号議案 その他
10. 議事の経過及び結果
(1) 議長による開会宣言
（社）日本新体操連盟・定款第28条の定めにより議長を会長二木英徳が勤め、開会宣言を行った。
(2) 議事録署名人の選出
定款第32条により、議長は議事録署名人を荒井隆専務理事と岩本晃理事にする事を議場に諮り承認された。
(3) 定足数の確認
定款第30条により総会出席者数委任状含めて416名であることが岩本晃理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。
(4) 議決事項
第1号議案 平成20年度・事業計画について（定款第5,29,38条関連事項）
議長は説明者として渡辺守成常務理事を指名し、渡辺常務理事は下記内容の説明を行った。
1. 平成20年度年間事業計画について
平成20年度の事業計画は平成19年度と同様の計画であり、変更、新規事業はない。

2. 「第 17 回全日本新体操クラブ選手権」について

第 17 回大会は 8 月 29 日から 31 日に「東京体育館」にて開催を予定。

前回大会からの変更点を説明

①採用種目について

これまでの 2 部リーグの種目は第 16 回大会で例えるとシニア採用種目「ロープ、フープ、クラブ、リボン」、ジュニア「ロープ、フープ、ボール、リボン」の中から共通している種目「ロープ、フープ、リボン」を 2 部リーグの種目として採用していた。1 人 1 種目の 2 部リーグでは、シニアが「ロープ、フープ」ジュニア「リボン」となる。

ジュニアが「リボン」と限定されるのも問題であるとの声に従い、今後は種目のローテーションを検討していく。これは平成 21 年度以降の検討課題であり、次回の 17 回大会は従来どおり、シニア「ロープ、フープ」ジュニア「リボン」を採用する。

②競技進行について

前回大会までは 1 日目に 1 部リーグ進出資格のない選手、2 日目に 1 部リーグ進出資格のある選手が競技していた。その結果、フロアによって、1 日目は競技時間が短く、2 日目の競技時間が長い効率の良くないタイムテーブルとなっていた。17 回大会からは 1 部リーグ進出資格の有無に関わらず、試技順抽選で競技を行うことで、タイムテーブルの効率化を図る。

3. 「第 8 回全日本新体操クラブ団体選手権」について

第 8 回大会は 9 月 13・14 日に「東京体育館」にて開催を予定。

前回大会からの変更点を説明。

①競技進行について

毎年競技を 1 フロアで開催していたが、参加チームの増加で第 8 回大会は 1 フロア開催が難しくなることが予想される。そこで参加の大半を占める「ジュニアの部」に予選制度を導入する。予選は 2 フロアで同時進行し、各フロアの上位 8 チームが決勝へ進出して、16 チームで決勝を行い順位を決定する。「シニアの部」は 1 フロアで進行し、予選を行わず順位を決定する予定。

4. 「イオンカップ 2008 世界新体操クラブ選手権」について

2008 年大会は 10 月 10 日から 12 日に「東京体育館」にて開催を予定。

前回大会からの変更点を説明。

①競技方法について

これまで、1 日目を全選手 2 種目の予選、2 日目をベスト 8、3 日目を準決勝、決勝とトーナメント方式で開催してきた。

しかし、海外からの参加選手より、予選 2 種目しか出来ないのは残念との意見があり、今年から予選を 1 選手につき 4 種目開催することとした。

1 日目 4 種目の予選、2 日目 2 種目の準決勝、3 日目 2 種目の決勝とスケジュール変更となる。

5. 「第 11 回全日本新体操チャイルド選手権」

「第 8 回全日本新体操キッズコンテスト」について

以前検討中と案内していた「東日本、西日本チャイルド選手権」について、全国よりできる限り全日本という形で進めてもらいたいとのご意見を多く頂いたため引き続き従来どおり「全日本チャイルド」という形で開催する。

第 11 回大会は 2009 年 2 月 27 日から 3 月 1 日に「東京体育館」にて第 10 回大会同様に開催を予定。

ルールについては多少の変更を予定している。詳細は 5 月末頃案内予定。

6. 「平成 20 年度セミナー」について

「指導者育成セミナー・国内」を 10 回

「指導者育成セミナー・海外」を 2 回

「審判セミナー」を 3 回

予定している。

海外セミナーは初級・上級ともロシア、ウクライナ、ベラルーシ、ブルガリアの世界トップ 4 から指導実績および日本にとって必要なものを考慮し、最適な国を選択していきたい。

7. 「バッジテスト」について

資料にはないが「バッジテスト」について補足説明。

本連盟では 20 年度より「新体操バッジテスト」を開催予定。「バッジテスト」は新体操愛好者が新体操を楽しく継続して頂けることを目標に導入。現在の予定では本連盟主催大会等で実施していく予定。詳細は決定次第案内。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第 1 号議案「平成 20 年度・事業計画」について承認可決された。

第 2 号議案「平成 20 年度・収支予算」について（定款第 29, 38 条関連事項）

議長は説明者として荒井隆専務理事を指名し、荒井専務理事は下記内容の説明を行った。

昨年度の同様の事業計画のため新規の収入・支出項目はない。

1. バッジテスト収入について

関心度や、体制の準備具合をはかるため、「第 10 回チャイルド選手権」で「お試しバッジテスト」を開催した。この「お試しバッジテスト」自体は予定数を上回る参加者で盛況に終えたが、会場に来られた方のアンケートでは「バッジテスト」への認知度が十分ではなかった。新年度「バッジテスト」は認知度を上げるための年と目標を定め、参加者収入を 90 万円と予算組みした。

2. 競技会開催収入について

「クラブ選手権」「団体選手権」「チャイルド選手権」と国内大会は毎年参加者が増加している。平成 20 年度としても参加者の増加が見込まれるため「イオンカップ」と合わせた収入を 2 億 5050 万円とした。

3. 補助金収入について

笹川スポーツ財団より「団体選手権」で補助金を受けている。今年は 100 万円で申請しているため、100 万円で計上している。ただし、大会成長具合、規模などにより減額されることがあるので了承いただきたい。

4. 収入合計について

以上により、平成 20 年度収入は 2 億 7760 万円を計上した。

5. バッジテスト支出について

開催にあたっての初期費用、バッジ・テキスト・認定証等の制作費を計上して 200 万円とした。

6. 国際派遣支出について

指導者育成セミナーの支出であるが、ロシア圏の景気拡大に伴うインフレで物価が上昇している。よって支出 400 万円を計上した。

7. 支出合計について

その他前年同様の予算組みとし、支出合計は 2 億 7732 万円で、収入 2 億 7760 万円から差し引いた 28 万円が平成 20 年度の収支差額となる。

原油高による原材料費の高騰や株価下落等日本の経済状況も大変不安定の中、スポンサー獲得等にも苦勞しそうではあるが、この予算内に納めるよう努力する所存である。

質疑・応答

「舞 KidsR. P. G.」代表奥平氏

バッジテストについて、検定料と認定料とあるがどのような意味か。1 度に払うものなのか。

二木会長

検定料はテストを受けるための費用、認定料は合格した後にバッジや認定証を発行する費用と取られて頂ければ良い。

「舞 KidsR. P. G.」代表奥平氏

バッジの資格が大会出場資格に必要と聞いたが、下の級から順々に受けていくべきなのか。

渡辺常務理事

制度を単純化したい。なので、飛び級を導入しない予定である。また、大会出場資格にしていくのであれば、どの級が資格となるのか公表する際に明確に表示できるようにしたい。5 月末の総会で 1 度報告をしたい。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第 2 号議案「平成 20 年度・収支予算」について可決された。

第3号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが提出されなかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し総会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成20年3月25日

社団法人 日本新体操連盟 平成19年度第2回総会

議長 二木 英徳

議事録署名人 荒井 隆

同 岩本 晃